

形容詞に付く「了」と「た」について

張 金艶*・谷守正寛**

On 'LE' and 'TA' that Follow Adjectives

ZHANG Jin-yan*, TANIMORI Masahiro**

キーワード：形容詞，了，た

Key Words: Adjective, Le, Ta

1 はじめに

中国語の「了」は、「完了」の「了」であることから、日本語の「～した」と言う時の「た」に当たると思う人も多いだろう。この、似ているようで実は異なる2つの語を比較する研究としては、張(1985)、筍(1997)及び張(2000)があげられる。そしてこれらの研究から両語の相違点は徐々に明らかになってきている。この2つの語は、両国語においてともに動詞と形容詞に付く点では共通点があるが、動詞と形容詞とでは機能上大きな隔たりがあるのは言うまでもない。つまり、両語に前接する語が動詞と形容詞の場合とでは、その意味・用法にも大きな違いがあると予想できる。前接語が動詞と形容詞の場合とを分けて、その意味・用法を分析することにすれば、これまで以上に正確にそれらの違いを明らかにできるのではないだろうかと考える。とりわけ、「了」に形容詞が前接する表現については、日本語との比較を含め、これまであまり取り上げられてこなかった。そこで、本論文においては、形容詞+「了・た」の表現に限って中国語と日本語の意味・用法を比較し、両者の類似点と相違点を明らかにしていくことにした。

2 形容詞+「た」の意味

- (1) 昨日は暑かった。
- (2) 今日は暑い。
- (3)*昨日は暑い。

上の例文を見て分るように、形容詞タ形は、(1)のように「昨日」と共起することから過去の状態を表し、(2)のような現在形(基本形)では「今日」と共起することから現在の状態を表すと言える。(3)のように過去を表す語と形容詞の現在形は共起しない。そこで、形容詞現在形は述語の表

*国際交流センター講師，**国際交流センター助教授

す状態が発話時点で存在し、形容詞タ形は発話時より前にあった状態を表すと言えるだろう。

次の文を見られたい。

(4) 外は暑かった。

(5) 富士山は高かった。

上の考えにしたがえば、暑いことや高いことは過去の状態になり、発話時点においては涼しい、あるいは低いということになる。しかし、(4)については、暑い外から涼しい部屋に入って述べたのであり、発話時に外が涼しいわけではない。(5)についても同様に、発話時に富士山が低くなっているということはある得ない。富士山は依然として高いはずである。にもかかわらず(4)と(5)は非文ではない。このことから、この場合の形容詞タ形は、話者が発話時以前に受けた感覚や印象を表すのであって、対象の過去の状態そのものを表すのではないと言える。この点で日本語の形容詞のタ形はユニークなものと言えるが、対象あるいは話者の印象であっても、過去時のことを表すことでは共通する。

ところが、中国語の場合、興味深いことに、(1)(4)(5)を翻訳すると「～た」に相当する語が現れない。つまり、対象の過去時の状態であっても話者の過去に受けた印象であっても過去を表す形式が現れない。このことから分ることは、日本語では、「～た」は非過去と過去というテンス的対立を区別するために使われるのに対して、中国語では「～了」はこうした形容詞のテンスについては無関心なのである。これについて、張(2000)は次のことを指摘している。

- ・静的状態を表す文では、日本語のタ形と現在形は過去か非過去かで対立している。
- ・中国語では過去の状態も現在の状態も無標文として変わらない。「了」は現れない。

中国語では、過去か非過去かを文法形式として扱うのではなく、時間を示す語句によって示す。そうでなければ過去のことだと分る何らかの他の条件に依って表現する。張(1985)も中国語の「了」がテンスという範疇に関与しないと指摘している。このように、形容詞に「た」が付くと過去の状態を表すという説明では、「た」と中国語の「了」との類似点と相違点を適切に考察することができないことが分る。すなわち、中国語の「了」は、テンスという枠組みから離れてとらえる必要があると言える。

3 形容詞+「了」の意味

ここでは形容詞に付く「了」について詳しく分析し、日本語の「た」にどう対応するか、その諸相をみていく。

3.1 「了」について

「了」には、動詞に付いて動作・行為の完了を表すものと、さまざまな述語文に付いて変化を表すものがある。これを「了₁」と「了₂」と区別する。形容詞に付くものは「了₂」ということになる。「了₂」については、事物の性質・状態に変化が生じたことを表す(劉 1988)、物事の性質・状態に(あるいは人間の意志に)起こった変化の完了を表す(張 1985)、語気詞の「了」はことからの完成や新しい事態の発生を確認するもので、変化がまだ起こってはいないがこれから変化が起こることを表す(與水 1985)といったいくつかの説明がある。共通点は「変化」を表すという点であろう。ただし、変化が生じたこと、変化の完了、ことからの完成やこれから変化が起こること、さらには、新しい事態の発生を確認するといったことはそれぞれ微妙に異なる説明である。

また、劉(1988)と與水(1985)は「了₁」と「了₂」に分けているのに対し、張(1985)はともに完了を表すという考え方でまとめている。次の例を見られたい。

- (6) 我们参观了一个工厂。 私たちはある工場を見学した。
 (7) 生活好了。 生活がよくなった。
 (8) 天气暖和了。 天気が暖かくなった。

言うまでもなく動詞に付く「了」は動作・行為の完了を表すことができる。(6)では「参观」という動作が完了したと理解できる。しかし、張(1985)の言うように(7)(8)も完了を表すとは考えにくい。すなわち、生活がよい状態に変化したこと、あるいは、天気が暖かい状態に変化したことが完了したのではなく、発話時点においてもその状態に変化したことが残っているか、さらに変化していることもあると考えたほうがよい。これは、形容詞の表す状態というものは動詞の表す動作とは違って、完了した時点で瞬時に消えるものではないからだろう。見学するという行動が完了した時点で見学という行動はもはや発生していないが、生活がよくなったという時点で生活のよい状態が維持され、さらによくする過程にあるかもしれない。

上の場合、日本語においては「なる」という変化を表す動詞を補わなければならない。つまり、日本語では中国語と違って、この「変化」という側面が言語形式として顕現する。形容詞に「なった」が付く場合でも、変化が完了し状態変化が止まったとは言にくい。完了を表す「た」を使わずに、ほぼ同じ状況を表すのに「生活がよくなっている」とか「天気が暖かくなっている」と言うこともできるのは、変化した状態が持続していることを表している証拠であろう。また、もし「完了」という概念が適切であれば、日本語でも「生活がよかった」とか「天気が暖かかった」などと、完了を表す「た」を使った表現が可能はずであろうが、そうではない。このようなことから「了₁」と「了₂」を区別するのが適当であると考えられる。つまり、本稿では「変化」というとらえ方を採る。

これから変化が起こることを表すという與水(1985)の説明についてみる。これは単に変化が起こったことを表すのとは大きく異なる。次の例を見てみよう。

- (9) 听说明天就暖和了。 聞くところによれば、明日暖かくなるそうだ。
 (10) 生活明年就好了。 来年になると、生活がよくなる。

(9)(10)の発話時においてはまだ状態変化が起きていない。何らかの情報や理由にもとづいて、今後の状態変化を予測している。こうした用法の「了」は、2で見たように日本語の「た」とは対応しない。形容詞+「了」がテンスを表さないことの証左であろう。

次に、新しい事態の発生を確認するという意味を吟味する。

- (11) 啊！你的房间亮了。 あら、君の部屋が明るくなった。
 (12) 啊！明天就暖和了。 ほら、明日は暖かくなるのよ。

(11)の発話時においては部屋の状態は既成事実であるが、話者はこれを単に現在の状態として述べているのではなく、形容詞「亮」に「了」を付すことによって、過去の暗い状態から明るい状態に変わったことに気づいて述べたことを表す。(12)では、天気が発話時においては寒いのが明日暖かくなるという変化を述べている。話者は新しい事態の発生を何かによって確認したことになる。このように、状態の変化に気づいた場合と、状態の変化がまだ生じていなくとも何らかの情報や根拠にもとづいて、将来状態の変化があると予測する場合にも使える。

なお、次の(13)(14)のような文について、形容詞が変化を表す場合と区別して、形容詞がその後置かれる「了」によって、変化や状態の実現を表すというとらえ方もある(荒川 2003)。

式でありながら話者の意図が大きく異なるのである。

日本語では、どちらの場合でも「この絵は少し高かった気がする」とは言えないように、形容詞のタ形とは対応しない。ただし、(19a)に限っては、変化を表す「なる」を使って「高くなった気がする」と言えば、「た」で表現することができる。このことも(19a)と(20a)とでは明らかに意味が異なることの証左と言えよう。しかし、形容詞+「なった」は形容詞のタ形ではないのでここではこれ以上ふれない。

3.3 「太」を伴う場合

「形容詞+了」の前に「太」を付けると程度を強調するとされる。

(21) 你的房间太好了。 君の部屋は本当にいい。

(22) 北京的秋天太美了。 北京の秋はとても美しい。

上の文では「好」「美」の程度を強調している。では次の文はどうだろうか。

(23) 这张纸太大了。我第一次见到这么大的纸。

この紙は本当に大きい。初めてこんなに大きい紙を見た。

(24) 这张纸太大了，给我一张小一点的。

この紙は大きすぎる。もう少し小さいのをください。

(23)は(21)(22)と同じく、紙の大きさに驚いて発した感嘆の表現である。ところが、(24)では紙の大きさに感動したのではなく、紙の大きさが自分の求めている基準に外れていることを述べている。つまり(23)(24)の「太大了」は同形でも異なる表現意図があると分る。劉(1988)によれば、発音のストレス(強弱)によっても意味が異なるとされる。ある基準に合わないことを表す場合ストレスは形容詞にあり、ストレスが程度副詞「太」にあれば程度を強調する働きが強くなり、感嘆を表す文になることが多いと言う。

さて実は、日本語でも、眼前の紙を見つ次のように言うことができる。

(25) せっかく持ってきてくれたけど、この紙ちょっと大きかったねえ。小さいのをください。

(26) *うわっ、この紙大きかった。初めてこんな大きいのを見た。

前節でもみたが、紙のサイズを実際に測った結果でなくても、事前に頭の中に求める基準があってそれに合わなかった場合に、(25)を言うことは可能である。しかし、日本語で感嘆文を言う時には、(26)のように「た」を使って述べることはできない。いずれにしても、形容詞に付く日本語の「た」とは中国語の表現機能が一部対応するとも言える。ただし、中国語で「太」が付いた場合に限って、(25)の「た」が必須ではないように、必ずしも「了」は必須ではなくなる。

次のタイプでは「了」は必須である。

(27) 小李：小王来了。 王さんがきた。

小丽：太好了。 よかった。

(28) 他没考上，太可惜了。 彼が受からなかったのは本当に惜しかった。

何か喜ぶべきことが実現した時に言う日本語の言葉に「よかった」というのがある。なぜ過去形(タ形)を使うのか、不思議に思う中国人の日本語学習者も少なくない。寺村(1984)によれば、これは、過去に起こったことや存在した状態に対して、現在の主観的判断を加えるものである。中国語でもなぜ「了」を使うのか、そこには共通したメカニズムがあるのだろうか。(27)では、王さんの来ることが実現できるかどうかは危ぶまれる状態だったが、それが実現したときの喜びを「太好了」で表している。(28)では、受からなかったという過去の事実に対して、「太可惜了」という現在の主

観的判断を加えている。過去に起こったことに対して現在の主観的判断を加えているという点では機能が共通しているように思われる。このように、中国語で「太」+形容詞+「了」という形式を取ると、過去の事態に対する現在の主観的判断を表すという点において、それはムード的用法だと言えるだろう。こうしたムードの表現でも中国語の「了」と日本語の「た」とは類似した側面があることが確認できた。

4 「了」と「た」の表現領域

ここでは、中国語の「了」と日本語の「た」が表す事態の変化の局面について、その表現領域の違いを考察する。日本語で「た」を使って「天気が暖かかった」と述べた場合、中国語では「了」を使わずに「天气暖和」とだけ述べ、「天气暖和了」とは言えない。反対に、中国語で「了」を使って「天气暖和了」と述べた場合、日本語では「なった」を使って「天気が暖かなった」と述べるが、「天気が暖かかった」とは言えない。この言語事実は、実は、興味深いことを語っていると考える。このことを分りやすく次に表に示す。なお、は、「た」または「了」が適切に表現できる文であることを表し、×は「た」または「了」を形容詞に付けて表すと非文になることを表す。その場合の適切な表現は()内に示した。

[表1]

	日本語	中国語	暗示する意味
(1)	天気 <u>が</u> 暖か <u>か</u> った	×天气暖和了 (天气暖和)	(今は)寒い = 天气冷 <u>了</u>
(2)	×天気 <u>が</u> 暖か <u>か</u> った (天気 <u>が</u> 暖か <u>く</u> な <u>な</u> った)	天气暖和 <u>了</u>	(前は)寒 <u>か</u> った = 天气冷

表1において、(1)のように、日本語で「た」を使った場合中国語では「了」が現れない。しかし、その場合に暗示する意味を中国語で表した場合には、反対の意味の形容詞に「了」が付いて表れている。一方、(2)のように、中国語では「了」で表される場合日本語では形容詞のタ形を使わない。しかし、暗示する意味を日本語で表した場合には、反対の意味の形容詞に「た」が付いて表れているのである。「暖かかった」と「暖和了」を同じ土俵で比較しようとするのは適切ではなく、実は、上のようにとらえることによって、「了」と「た」の現れる表現領域が相補的に位置していることが分ってくる。「了」と「た」をこのような枠組みでとらえることで、これまで以上により正確に両語の相違点が明らかになったといえよう。また、このことは同時に、中国語あるいは日本語の学習において有用な示唆を与えるものと期待できよう。

5 まとめ

本論文においては、中国人の日本語学習者と日本人の中国語学習者が混同しやすいと思われる「了」と「た」の類似点と相違点を、前接語が形容詞の場合に限定して記述・分析をおこなった。ムードの表現として述べると、日本語の「た」と対応する場合があることが分った。また、中国語の「了」と日本語の「た」が果たす事態の局面の表現領域の違いについても明らかに示した。

中国語の「了」と日本語の「た」の用法をめぐって、テンス、アスペクト(状態の変化・状態の

変化に気づく場合とこれから起こる変化を表す場合)、および、ムード(基準に合わないと認識する場合と過去の状態に対して現在の判断を加える場合)とに区分して、それぞれどのように用法が分布するかを細分し、下の表2にまとめた。

形容詞に付く場合の「了」と「た」の用法についての対照研究は、管見の及ぶ限り、これまであまりなされてこなかったようである。したがって、まだ多くの課題が残されたままであると思われる。本論文では、そのうちのいくつかの側面を明らかにできたと思う。また、ここで明らかに示し得たことは、中国語あるいは日本語の教育において有用な材料として活用できるものと信ずる。なお残された課題については今後の課題としたい。

[表2]

	た	了
テンス	昨日は暑 <u>かった</u>	×昨天很热 <u>了</u> (→昨天很热)
アスペクト 状態変化(への気づき)	× <u>天気</u> が暖か <u>かった</u> (<u>天気</u> が暖か <u>くな</u> った)	○ <u>天气</u> 暖和 <u>了</u>
アスペクト これから起こる変化	× <u>来年</u> は生活がよ <u>かった</u> (<u>来年</u> は生活がよ <u>く</u> なる)	○生活明年就 <u>好</u> 了
ムード 基準に合わないと認識	この紙は薄 <u>い</u> /薄 <u>か</u> った	○ <u>这</u> 张纸薄 <u>了</u> 点儿
ムード 過去状態への現在判断	よ <u>か</u> った	○太 <u>好</u> 了

参考文献

- 劉月華・他(1988)『現代中国語文法総覧』(上) 相原茂監訳. 289-314. くろしお出版.
 與水優(1985)『中国語研究学習双書8 中国語の語法の話』311-314. 光生館.
 寺村秀夫(1984)『日本語のシンタクスと意味』第二巻. くろしお出版.
 荒川清秀(2003)『一步すすんだ中国語文法』126-134. 大修館書店.
 張繼英(2000)「日本語の「た」と中国語の「了」との相違」『日本と中国ことばの梯』359-370. くろしお出版.
 張麟生(1985)「中日両語のアスペクト 「了」と「た」を中心に」『日本語学』3月号. 74-91.
 荀春生(1997)「汉语“了”与日语“了”的非等值性」『汉外语言文化对比与对外汉语教学』201-212. 北京语言文化大学出版社.

(2006年5月10日受付, 2006年5月11日受理)